

9月27日
木曜日

山陽新聞社

岡山県岡山市中区1-1-1
編集制作センター
岡山県岡山市北区1-1-1

探訪 412 ザ・カンパニー

メモ 所在地 倉敷市西中新田(08
6-425-2100、倉敷青果
期)▽事業内容 カット野菜製造販売、青果
荷受組合▽創業 1932年▽資本金 5
物、食品卸売業、不動産、レジャー▽グル
700万円(クラカコーポレーション)▽ケ
ブ従業員 310人(パート含む)

2009年に食品安 冷库を設置するととも
全衛生の国際規格である、洗浄やカッティン
るISO22000のグ、梱包といった作業
認証を青果卸売市場業 や商品保管も低温下で
界で初めて取得。5度 行うコールドチェーン
以下に管理する低温保 体制を整えた。



吉田修作代表
量販店向けのサラダ
などの製造では、完成
まで複数が関わるライ
ン方式ではなく、一人
が一つの商品を仕上げ

クラカグループ (倉敷市)

クラカグループはカ
ット野菜製造販売の倉
敷青果荷受組合を中心
に、不動産・レジャー
事業のクラカコーポ
レーション、野菜や果物
の仲卸のクラカフレッ
シュとクラカフルーツ
の4社で構成。193
2(昭和7)年に食品
卸の吉田商店として創
業し、青果物卸などを
手掛けてきた老舗は今
年で80周年を迎えた。
業績を伸ばすきつっ
けになったカット野菜
は98年からスタート。
家庭で野菜の消費が減
り、中食・外食産業の
加工・業務用が増えて
いるのに目をつけ、岡
山県内には当時なかつ
たカット野菜の工場生
産に乗り出した。



カップサラダなどを作るカット野菜の生産工場

カット野菜で業績拡大

る方式を採用。衛生管
理の徹底と、従業員に
責任感を持たせること
につながっているとい
う。

カット野菜の取引先
は現在、全国150社
に広がり、売上高は約
23億円(11年12月期)
とグループ全体の約2
割を占める。「品質を
追求したことが信頼を
高め、取引先の拡大に
つながった」と同組合
の富本尚作青果事業部
長(60)。

天候不順による野菜
価格の乱高下に影響さ
れないように生産前に
農家と価格や数量を決
めておく契約取引の拡
大にも力を入れている。

吉田修作代表(64)は
「消費者が求める商品
を常に意識し、今後も
ニーズにあった事業を
展開していきたい」と
話す。(土井一義)

＝随時掲載